

平成30年度 府立洛西高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 確かな学力を身に付けさせるとともに希望進路の実現を図る。</p> <p>2 部活動、自主活動の充実・活性化により、豊かな人間性を育み質の高い集団づくりを行う。</p> <p>3 保護者、地域の方々から信頼され、期待される、魅力ある開かれた学校づくりを実現する。</p>	<p>1 進路実現については、目標に及ばなかったところもあるが、標準コースから国公立大学合格等、生徒を最後まで頑張らせる指導は、今後の進路指導に生かしたい。 電子黒板等 ICT 機器の活用やアクティブラーニングの実践授業も増えたが、どのような授業改善につながったか、全体での共有が不十分であった。</p> <p>2 部活動や学校行事に一生懸命頑張り、文武両道を実践している生徒が多い。休養日の実施等により、生徒の健全な育成に寄与する部活動のあり方を工夫したい。</p> <p>3 ホームページやお知らせメールの更新頻度をあげることで、広報活動を精力的に進めることができた。より志願者増につながる学校説明会を実施しなければならない。</p>	<p>1 生徒一人ひとりを大切に、個性と能力、可能性を最大限に伸ばす教育活動を行う。 (1) 学習意欲の喚起と学力向上のための取組 ・アクティブラーニングや ICT 機器を活用して、「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業改善を推進する。 (2) 進路実現のための組織的な取組の実践 ・将来の生き方につながる教育活動を展開する。 (3) 公正明朗で、何事にも全力で取り組む姿勢の育成 ・部活動や学校行事を通して自尊感情や自己有用感を高め、チャレンジ精神やリーダー性を育てる。 ・規範意識の向上と豊かな人間性の育成に努める。</p> <p>2 高大接続改革や新学習指導要領を見据えた取組を考察し実践する</p> <p>3 開かれた学校づくりを展開する。 ・本校の魅力を広く発信し、生徒募集や地域貢献につなげる。</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	各種会議の連携を図り、学校運営を組織的に進める。	<ul style="list-style-type: none"> ・部長会議を中心とし、各種会議にて課題に応じた組織的な検討を行う。 ・各種会議での検討内容を共有し、共通理解のもと組織的な取り組みを進める。 	B B	<p>各種会議は定期的な開催と必要に応じての開催により、情報を共有するとともに組織的な取り組みと対応ができた。また、部長会議の内容が分掌でしっかり報告され様々な取り組みを組織的に実施することができた。</p>
	生徒・保護者・地域社会からの期待に応え信頼される学校づくりを一層推進し、本校の教育活動についての特色や魅力に関する情報発信に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会やホームページ等をとおして、中学生や保護者、地域の方が本校の教育活動についての理解を深められるよう、広く情報発信を行う。また、お知らせメール等を活用し、日々の高校生活等について生徒や保護者へ適切な情報提供に努める。 	B B	<p>・年度当初には台風情報等のホームページ更新のタイミングが遅かったことがあったが、それ以降はタイムリーに更新されるとともに並行して頻繁にお知らせメールも発信され広く情報発信ができたものと考えられる。</p> <p>・学校説明会では丁寧な説明を心がけ、実践し、中学生・保護者からも一定の評価を受けた。</p>
	生徒の教育環境の充実に向け、適切な予算執行を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所の早期発見・改修を行い、安心安全な学習環境を整えるとともに、施設設備の充実を図る。 ・生徒の豊かな学びを支える教育環境を整えるため、適切な予算の執行を行う。 	B B	<p>台風等による被害をいち早く発見し、修繕を施し安心安全な学習環境を整えることに務めた。</p>

学習指導	学習指導要領の改定を念頭に、現学習指導要領に基づく授業改善を図り、知識・技能や思考力・表現力・判断力を高める、質の高い授業の実現に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブラーニングやICT機器を活用して、「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業改善を図る。 ・指導方法の工夫や改善を進め、積極的に公開授業等を実施し質の高い授業を目指す。 	B	B	授業等において、生徒に力を付ける一工夫を求め、公開授業週間を実施し、アクティブラーニングやICT機器を活用した授業については、増加傾向にあるが、さらなる活性化が必要である。生徒の学習習慣の定着を図るためLRの積極的活用を指導したが、まだまだ定着化していない。今後、どのようにして定着化を図っていくかに工夫の余地を残している。
	生徒一人ひとりが自らを律し、主体的に学び、確かな学力を身につけさせる指導に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習記録冊子 LR を活用し時間管理や自学自習のあり方について考えさせ、生徒一人一人が自らの目標に向かい主体的に、自律して学習に取り組む力の育成に努める。 	B	B	
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努め、落ち着いた学習環境を作る。	<ul style="list-style-type: none"> ・日常における身だしなみ・挨拶・正しい言葉づかい・時間の自己管理など社会人として通用する人間育成を目指し教職員全員が一致して指導する。 ・スマートフォン(携帯電話)のマナーを指導するとともに、SNSやネットとのかかわり合い方など情報機器の正しい使い方を指導する。 	B	B	全体的には比較的落ち着いた状況で生活できている。規範意識を向上させ、規律ある学校生活を維持するため、今後も全教職員による一致した指導が必要である。SNSによる個人情報の流布、肖像権の侵害を疑われる投稿などもあり、継続的指導が必要である。 部活動入部率は依然として高く、積極的に取り組む生徒も多く見られるが、全体としてはまだまだ低調である。ただ、洛再Links(探究型学習)やボランティア清掃に生徒会や部員の多くが積極的に参加したことは評価できる。
	文武両道を目指し、他者との協力のもとに何事に対しても一生懸命に取り組み、最後まで諦めずにやりきる生徒の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動や学校行事に積極的に取り寄せ、健全な人間関係の構築を図るとともに、自主性・協調性の向上を図り、達成感を持たせるよう指導する。 	B	B	
進路指導	個に応じた指導等により、生徒一人一人の進路を実現する。 具体的目標として、国公立および難関私大への実合格者80人、国公立大学のベ合格者50人、難関私大80人を実現させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の各組織と連携しながら、生徒が主体的に自己の可能性を発見し、適性能力を把握して進路選択ができるような機会を、さまざまに設ける。 ・個人面談を密にし、進路希望の明確化を図る。 ・教科指導や担任の面談の支援となる情報提供に努める。 ・大学入試等の制度改革について、適切な情報収集と対応を図る。 	B	B	個人面談等を通じて、生徒に将来を考えさせ、進路目標への努力を促す機会を作ることができた。また、講習や模擬試験を活用させ、学力を伸長させる機会を多く作ることができた。大学入試改革については、確定しない部分が多かったため十分な情報を得られなかったが、今後一層の情報収集に努めていく必要がある。
			A	B	
			B	B	
			B	B	
人権・健康・安全教育	自他の生命を大切に、他者を思いやる心と他者を尊重する心を育て人権尊重の意識を高めさせる。 PTAや地域と連携し生徒の健全育成に取り組むとともに生徒の安心安全を守るため登下校の交通安全指導をはじめとする学校内外での安全教育に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・人権学習の内容を充実させるとともに各種行事等の機会を通じていじめや不正を許さない人権尊重の意識を高め、一人一人の人権が守れる集団づくりを進める。 ・生徒が主体的に本に親しむ読書指導を展開するとともに、情報活用能力を育成する。 ・不登校等の未然防止や学習・生活支援を必要とする生徒への早期対応をはかる。 ・自転車通学者を中心に、登下校時の安全指導や啓発にPTAや地域と連携して取り組む。 	B	B	人権学習の内容を充実させるとともに、いじめを許さない・見逃さない学校体制をいじめ対策委員会を中心に構築することに努めた。 安心・安全な学校生活と心身の健康を守るための指導や情報提供を行った。 担任や保護者、分掌、教科などと連携を取り、生徒の変化や問題に迅速かつきめ細やかに対応することができた。 図書委員会の活動など、生徒が読書に親しむ環境づくりに努め、ホームページ等での情報発信を積極的に行った。 通学時の自転車事故の防止に向け交通安全指導等の啓発を、引き続き継続して行う必要がある。
			B	B	
			B	B	
			B	B	

<p>学校関係者評価委員会による評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 洛西高校は、勉強だけでなく部活動や学校行事にも熱心に取り組む学校であり、それが良き伝統となり、校風となっている。 • 学校と地域のつながりを大切にする他にはない地域一斉清掃に近隣の小学校、中学校と連携して取り組まれているのは素晴らしい。今後もぜひ継続させてほしい。 • 自転車通学のマナー向上を目指すとともに加害者にも被害者にもならないように交通安全についての指導はしっかりやっている。これからも継続して指導してほしい。 • 学校ホームページやお知らせメールを活用して多くの情報をタイムリーに発信している。 • 1年生・2年生のホームルーム教室に電子黒板とプロジェクターが設置されているのでそれを活用した ICT 教育の推進に向けて、研修等にも取り組んでもらいたい。
------------------------	---

<p>平成31年度に向けた改善の方向性</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 新学習指導要領の研修を進め、生徒の希望進路を実現させるための教育課程編成の検討を学校全体で進めていきたい。 • 1年生と2年生の全教室に設置した電子黒板とプロジェクターを活用した ICT 教育を一層推進するため、授業における工夫と授業改善の研究を積極的に行いたい。 • 主体的、対話的で深い学びを、本校独自の取組である探究型学習「洛再 Links」（地域とのつながりを大切にし、地域の課題解決に取り組む）の取組みを通して生徒たちに実践させる「総合的な探究の時間」のプログラムを構築していきたい。
-------------------------	---